



鷺宮体育館

は、協議会独自の判断による。公民癒着の批判を受けないよう倫理基準が必要と考える。

スポーツができる環境をスポーツ施設の数について区の認識は、児童クラブと児童館の学校への取り込みと、家庭・体育館の地域利用についての区の認識は、

に、議論の機会を保障するし、くみを整えてきた。要望が不採用の場合にも、十分理由を説明し、参加の実を感じられるよう努めてきた。「手ごたえのある区民参加」は着実に進んでいると考える。調査結果は残念であるが、工夫して、関心を呼び起こしたい。

事務局長は、依頼により退職職員を紹介した。常務理事



子育て支援は三者関係でデザインを

無所属の会 奥田 けんじ

区の子育てサポート事業は、NPO主体で実施されており、今後の事業展開が期待される。しかし現状は、サービス提供者と利用者の二者関係による運営形態になっている。多摩市では、行政・利用者・企業の三者により事業が展開され、全ての関係者が互いに高め合い、利益のある関係づくりが行われている。区も三者による複眼的な分析を行い実施してはどうか。

区長 子育て支援は、多様な形で準備され、さまざまな担い手によって活動が行われている。サポートルームに



東京工芸大学中野図書館

の専門書籍を所蔵している。大学も生き残りを受け、地域との共生を迫られており、既に、区民への閲覧を開始した互いの事情を考慮し、連携を深める価値は十分にあり、市民に選ばれる自治体であるための一つの重要な要素にもなりうる。東京工芸大学の図書館の開放に向けて、どのような取り組みを考えているか。

区長はコンテンツ産業の育成と言っているが、その育成には、文化・歴史の背景が必要となる。東京工芸大学にはクリエーターの卵が通っている。このコンテンツの宝庫を活用し、学生・地域・行政の三者により、全ての関係者にとって利益のある産業育成を図ってはどうか。ゆくゆくは「中野フィルムフェスティバル」と銘打ち、ショートショート映画祭、映画制作実習など地域密着型のイベントも可能である。このようなフィルム・コミッション事業を積極的に推進すべきではないか。

区長 テレビや映画の撮影場所についての相談や、公園や区有施設などの使用許可申請の窓口紹介などを行って

区は、地域図書館に特徴を出す方針だが、区の力にも限界がある。東京工芸大学中野図書館は7万冊もの芸術分野



障害者自立支援法 成立による区への影響は

市民自治 佐藤 ひろこ

利用料減免など、複雑な制度の情報提供や本人の意向を尊重したプランづくりのために、ケアマネジメントをし

区長 当面、現在の障害担当のケースワーカーを



幼稚園で遊ぶ子どもたち

業者への支援を行いたい。希望の持てる幼児総合施設を

10年計画で、区立幼稚園を幼児総合施設とする案が示された。自由な教育理念を

区長 幼児総合施設は、保護者の就労の有無にかかわらず、発達段階に応じた教育・保育の一体的な実施を基本に、子育て家庭への相談支援や乳幼児親子の交流の場など新たな機能を加えた総合施設であり、区民の多様なニーズに的確にこたえられると考える。



区独自の少子化対策を積極的に打ち出せ

自由民主党・民社クラブ 伊藤 正信

中野区では少子化が急速に進行しており、その大きな理由に経済的な負担感がある。

区独自の少子化対策として児童手当の充実が考えられないか。また、次世代育成支援行動計画には多くのサービスが

区長 経済的支援は、保護者や子どもの置かれた状況を勘案し、適切で効果的な方



放置自転車(新中野駅付近)

新たな手法で駐輪場整備を区内で4番目に乗車人員が多い新中野駅には、自転車駐輪場がなく、自転車が路上にあふれ、美観を損ない、通行や地元商店街での買い物客の障害となつている。新たな自転車駐輪場整備に向け、旧消防署跡地の活用は検討したか。また、杉山公園交差点改良工事にあわせて用地確保や、民間の時間貸し駐車場の一部を取得し設置してはどうか。

区長 旧消防署跡地は駅から遠いなどの理由により、計画化を見送った。杉山公園の交差点改良工事にあわせて自転車駐車場整備や、土地所有者への個別の働きかけによる、民営の自転車駐車場の可能性も含め検討していきたい。



無制限の民営化・民間委託に歯止めを

日本共産党議員団 江田 とおる

区長は、職員削減のため民営化・民間委託を一層進めるとしているが、このまま進めば区が蓄積した技術や指導力をなくし、その被害は区民に及ぶ。民営化しては

区長 政策形成など、行政にしかできないことは当然ある。それを絞り込んでいく一方、行政が独占してきた公共サービスでも、民間の活動にゆだね、サービスの向上や多様化を図ることが求められていると考えている。成果主義に基づく個人目標の達成は、住民サービスや区民満足度の向上に資するものであり、公務労働の目指す住民福

個人の成果を競う「成果主義」